

内容の表

1. パート1：分類及び表示のための一般的原則	25
1.1. 序	25
1.1.1. この手引文書の目的	25
1.1.2. 背景	25
1.1.3. ハザード分類	26
1.1.4. 誰がハザード分類に責任を負っているか、そしてその時刻表は？	27
1.1.5. どんな物質及び混合物が分類されなければならないか（範囲）	27
1.1.6. 分類にはどんな情報が必要とされるか	29
1.1.6.1. 物質の分類のための情報	29
1.1.6.2. 混合物の分類のためのデータ	30
1.1.7. データ評価及び分類に関する決定への到達	31
1.1.7.1. 物質の分類	31
1.1.7.2. 物質の分類に関する不純物、添加物又は個々の成分の影響	31
1.1.8. ハザード分類の更新	31
1.1.9. ハザード分類とハザード周知の間のインターフェース	31
1.1.10. 自己分類と調和化された分類の間のインターフェース、 及び調和化された分類のリスト	32
1.1.11. 分類・表示インベントリー（C&L インベントリー）	33
1.1.12. 分類の他の EU 法規との関係	33
1.1.12.1. REACH	34
1.1.12.2. 植物保護製品及び殺生物剤	34
1.1.12.3. 輸送法規	34
1.2. CLP に従う分類に関して、「形態又は物理的状态」及び「当然予期される使用」という語の 意義	35
1.2.1. 「形態又は物理的状态」及び「当然予期される使用」	35
1.2.2. ハザード分類に関する「当然予期される使用」という語	35
1.2.3. ハザード分類に関係する「形態又は物理的状态」という語	36
1.2.3.1. 物理的ハザード	36
1.2.3.2. ヒト健康ハザード	37
1.2.3.3. 環境ハザード	37
1.3. 追加の評価を必要とする特定の場合－生物学的利用能の欠如	35
1.3.1. 定義	38
1.3.2. 生物学的利用能	38
1.3.2.1. ヒト健康ハザード	38
1.3.2.2. 環境ハザード	39

1.4. 分類及び表示のための、物質のカテゴリー化（読取り法及びグループ化）並びに	
(Q) SAR の使用	40
1.4.1. (Q)SAR	41
1.4.2. グループ化	42
1.4.3. 読取り法	42
1.5. 特定の濃度限界値及び M-ファクター	43
1.5.1. 特定の濃度限界値	43
1.5.2. 乗率 (M-ファクター)	44
1.6. 混合物	45
1.6.1. どのように混合物を分類するか	45
1.6.2. 物理的ハザードに対する分類	47
1.6.2. 物理的ハザードに対する分類	48
1.6.3. 健康及び環境ハザード	48
1.6.3.1. 混合物それ自身に関するデータを用いて導出される分類	49
1.6.3.2. つなぎの原則	49
1.6.3.2.1. 希釈	50
1.6.3.2.2. 生産バッチ (Batching)	50
1.6.3.2.3. 高度に有害な混合物の濃度	51
1.6.3.2.4. 1つの毒性カテゴリー内での内挿	51
1.6.3.2.5. 実質的に類似の混合物	51
1.6.3.2.6. 混合物の組成が変化した場合の分類の見直し	52
1.6.3.3. エアロゾル（ある種の健康ハザードにのみ）	53
1.6.3.4. 計算又は濃度閾値に基づく分類	53
1.6.3.4.1. 計算に基づく分類	53
1.6.3.4.2. 濃度閾値 (concentration threshold) に基づく分類	55
1.6.3.4.3. ハザードの加算性	57
1.6.4. 混合物中の混合物の分類	57
1.6.4.1. 例：混合物 A の分類	58
1.6.4.2. 例：混合物 B の分類	61
1.7. 付属書 VII の適用	64
1.7.1. 序	64
1.7.2. 付属書 VII の変換表の使用	64
1.7.2.1. 付属書 VII の変換表の適用性	65
2. パート 2：物理的ハザード	71
2.0. 序論	71
2.0.1. 分類及び試験の必須条件に関する概論	71
2.0.2. 安全性	72

2.0.3.	試験の一般的な条件	72
2.0.4.	物理的性状.....	72
2.0.5.	品質.....	73
2.1.	爆発物 (Explosives)	74
2.1.1.	序論.....	74
2.1.2.	爆発物の分類に関する定義及び一般的考慮事項.....	74
2.1.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	75
2.1.4.	物質、混合物及びアーティクルの爆発物としての分類.....	76
2.1.4.1.	ハザード情報の特定.....	76
2.1.4.2.	スクリーニング手順及び試験の免除	76
2.1.4.3.	分類クライテリア	78
2.1.4.4.	試験及びハザード情報の評価	79
2.1.4.5.	分類手順と決定ロジック	79
2.1.4.5.1.	判定手順.....	82
2.1.4.5.2.	等級への割当手順.....	84
2.1.5.	爆発物のハザード周知 (Hazard Communication)	90
2.1.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	90
2.1.5.2.	追加の表示規定.....	91
2.1.6.	DSD 及び DPD に従って爆発性として分類された、 又は運搬のために既に分類されている物質及び混合物の再分類	93
2.1.6.1.	DSD 及び DPD に従って爆発性として分類された物質及び混合物の再分類	93
2.1.6.2.	輸送分類との関係.....	94
2.1.7.	爆発物の分類例.....	94
2.1.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	94
2.1.7.2.	分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例	96
2.2.	可燃性ガス (Flammable gases) 及び可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む) (Flammable gases (including chemically unstable gases))	98
2.2.1.	可燃性ガス.....	98
2.2.1.1.	序.....	98
2.2.1.2.	可燃性ガスの分類についての定義及び一般的考慮事項.....	98
2.2.1.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	98
2.2.1.4.	物質及び混合物の可燃性ガスとしての分類.....	99
2.2.1.4.1.	ハザード情報の特定	99
2.2.1.4.2.	ガス混合物のスクリーニング手順及び試験の免除	99
2.2.1.4.3.	分類クライテリア	99
2.2.1.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	99
2.2.1.4.5.	決定ロジック	101
2.2.1.5.	可燃性ガスのハザード周知.....	102
2.2.1.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	102

2.2.1.5.2.	追加の表示規定	102
2.2.1.6.	DSD 及び DPD に従って可燃性ガスに分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類	102
2.2.1.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類	102
2.2.1.6.2.	輸送分類との関係	103
2.2.1.7.	可燃性ガスの分類例	103
2.2.1.7.1.	ISO 10156 (改訂版) の計算法を用いた分類例	102
2.2.2.	可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	104
2.2.2.1.	序	104
2.2.2.2.	可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む) の分類についての 定義及び一般的考慮事項	104
2.2.2.3.	他の物理的ハザードとの関係	104
2.2.2.4.	物質及び混合物の可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む) としての分類	104
2.2.2.4.1.	ハザード情報の特定	104
2.2.2.4.2.	ガス混合物のスクリーニング手順及び試験の免除	105
2.2.2.4.3.	分類クライテリア	105
2.2.2.4.4.	試験及びハザード情報の評価	106
2.2.2.4.5.	決定ロジック	107
2.2.2.4.6.	可燃性ガスの決定ロジック	107
2.2.2.4.6.1.	化学的に不安定なガスの決定ロジック	107
2.2.2.5.	可燃性ガス (化学的に不安定なガスを含む) のハザード周知	110
2.2.1.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	110
2.2.2.6.	DSD 及び DPD に従って可燃性ガスに分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類	110
2.2.2.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類	110
2.2.2.6.2.	輸送分類との関係	110
2.2.2.7.	可燃性ガスの分類例	111
2.3.	可燃性エアロゾル及びエアロゾル (Flammable aerosols and aerosols)	111
2.3.1.	可燃性エアロゾル	112
2.3.1.1.	序	112
2.3.1.2.	可燃性エアロゾルの分類についての定義及び一般的考慮事項	112
2.3.1.3.	他の物理的ハザードとの関係	112
2.3.1.4.	可燃性エアロゾルの分類	113
2.3.1.4.1.	分類クライテリア	113
2.3.1.4.2.	試験及びハザード情報の評価	113
2.3.1.4.3.	決定ロジック	114
2.3.1.4.4.	可燃性エアロゾルの決定ロジック	114
2.3.1.4.4.1.	スプレーエアロゾルの決定ロジック	114
2.3.1.4.4.2.	泡エアロゾルの決定ロジック	114

2.3.1.5.	可燃性エアロゾルのハザード周知.....	116
2.3.1.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	116
2.3.1.5.2.	追加の表示規定.....	117
2.3.1.6.	DSD に従う可燃性エアロゾルの再分類.....	117
2.3.1.6.1.	輸送分類との関係.....	117
2.3.1.7.	可燃性エアロゾルの分類例.....	118
2.3.1.7.1.	分類クライテリアを満たしているエアロゾルの例.....	118
2.3.1.7.2.	分類クライテリアを満たしていないエアロゾルの例.....	118
2.3.2.	エアロゾル.....	119
2.3.2.1.	序.....	119
2.3.2.2.	可燃性エアロゾルの分類についての定義及び一般的考慮事項.....	119
2.3.2.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	119
2.3.2.4.	可燃性エアロゾルの分類.....	119
2.3.2.4.1.	分類クライテリア.....	119
2.3.2.4.2.	試験及びハザード情報の評価.....	120
2.3.2.4.3.	決定ロジック.....	121
2.3.2.4.4.	可燃性エアロゾルの決定ロジック.....	121
2.3.2.4.4.1.	スプレーエアロゾルの決定ロジック.....	114
2.3.2.4.4.2.	泡エアロゾルの決定ロジック.....	114
2.3.2.5.	エアロゾルのハザード周知.....	123
2.3.2.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	123
2.3.2.5.2.	追加の表示規定.....	124
2.3.2.6.	DSD に従う可燃性エアロゾルの再分類.....	124
2.3.2.6.1.	輸送分類との関係.....	124
2.3.2.7.	エアロゾルの分類例.....	125
2.3.2.7.1.	分類クライテリアを満たしているエアロゾルの例.....	125
2.3.2.7.2.	分類クライテリアを満たしていないエアロゾルの例.....	126
2.4.	酸化性ガス (Oxidizing gases).....	126
2.4.1.	序.....	126
2.4.2.	酸化性ガスの分類のための定義及び一般的考慮事項.....	126
2.4.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	126
2.4.4.	酸化性ガスとしての物質及び混合物の分類.....	126
2.4.4.1.	ハザード情報の特定.....	126
2.4.4.2.	スクリーニング手順と試験の回避.....	126
2.4.4.3.	分類クライテリア.....	126
2.4.4.4.	試験及びハザード情報の評価.....	127
2.4.4.5.	決定ロジック.....	127
2.4.5.	酸化性ガスのハザード周知.....	128
2.4.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	128

2.4.6.	DSD 及び DPD に従って酸化性ガスとして分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類.....	128
2.4.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類.....	128
2.4.6.2.	輸送分類との関係	128
2.4.7.	酸化性ガスの分類例	129
2.4.7.1.	分類クライテリアを満たしていない物質及び混合物の例.....	129
2.5.	高压ガス (Gases under pressure)	129
2.5.1.	序	129
2.5.2.	高压ガスの分類のための定義及び一般的考慮事項	129
2.5.2.1.	「ガス」の定義.....	129
2.5.2.2.	「高压ガス」の定義.....	130
2.5.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	130
2.5.4.	高压ガスとしての物質及び混合物の分類.....	130
2.5.4.1.	ハザード情報の特定.....	130
2.5.4.2.	分類クライテリア	131
2.5.4.3.	ハザード情報の試験と評価.....	131
2.5.4.4.	決定ロジック.....	131
2.5.5.	高压ガスのハザード周知	132
2.5.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	132
2.5.6.	DSD 及び DPD に従って高压ガスとして分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類.....	133
2.5.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類.....	133
2.5.6.2.	輸送分類との関係	134
2.5.7.	高压ガスの分類例	134
2.5.7.1.	分類クライテリアを満たしている物質及び混合物の例	134
2.5.7.1.1.	混合物の例： 9%(O ₂) + 16%(N ₂ O) + 75%(N ₂).....	134
2.6.	可燃性液体 (Flammable Liquids)	135
2.6.1.	序	135
2.6.2.	可燃性液体の分類についての定義及び一般的考慮事項	135
2.6.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	135
2.6.4.	物質及び混合物の可燃性液体としての分類	135
2.6.4.1.	ハザード情報の特定.....	135
2.6.4.2.	スクリーニング手順及び試験の回避	135
2.6.4.2.1.	沸点	135
2.6.4.2.2.	引火点.....	136
2.6.4.3.	分類クライテリア	136
2.6.4.4.	試験及びハザード情報の評価	136
2.6.4.4.1.	試験	137
2.6.4.4.2.	ハザード情報の評価.....	138

2.6.4.5. 決定ロジック	138
2.6.5. 可燃性液体のハザード周知	140
2.6.5.1. 絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	140
2.6.5.2. 可燃性液体の追加の表示規定	140
2.6.6. DSD 及び DPD に従って可燃性液体に分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類	141
2.6.6.1. DSD に従って分類された物質及び混合物の再分類	141
2.6.6.2. 輸送分類との関係	141
2.6.7. 可燃性液体の分類例	142
2.6.7.1. 分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	142
2.6.7.2. 分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例	142
2.6.8. 参考文献	143
2.7. 可燃性固体 (Flammable Solids)	143
2.7.1. 序	143
2.7.2. 可燃性固体の分類についての定義及び一般的考慮事項	143
2.7.3. 他の物理的ハザードとの関係	144
2.7.4. 物質及び混合物の可燃性固体としての分類	144
2.7.4.1. ハザード情報の特定	144
2.7.4.2. スクリーニング手順及び試験の回避	145
2.7.4.3. 分類クライテリア	145
2.7.4.4. 試験及びハザード情報の評価	146
2.7.4.5. 決定ロジック	146
2.7.5. 可燃性固体のハザード周知	147
2.7.5.1. 絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	147
2.7.6. DSD 及び DPD に従って可燃性固体に分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類	148
2.7.6.1. DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類	148
2.7.6.2. 輸送分類との関係	148
2.7.7. 可燃性固体の分類例	148
2.7.7.1. 分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	148
2.7.7.2. 分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例	149
2.7.8. 参考文献	149
2.8. 自己反応性物質 (Self-reactive substances)	149
2.8.1. 序	149
2.8.2. 自己反応性物の分類のための定義及び一般的考慮事項	150
2.8.3. 他の物理的ハザードとの関係	150
2.8.4. 自己反応性の物質及び混合物の分類	151
2.8.4.1. ハザード情報の特定	151
2.8.4.2. 分類のクライテリア	151

2.8.4.3.	ハザード情報の試験及び評価	153
2.8.4.3.1.	熱安定性試験及び温度管理	153
2.8.4.3.2.	追加の考慮事項及び試験	154
2.8.4.3.3.	追加の分類考慮事項	155
2.8.4.4.	決定ロジック	155
2.8.5.	自己反応性物に関するハザード周知	157
2.8.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	157
2.8.6.	DSD 及び DPD に従って自己反応性物として分類された、 又は既に輸送のために分類された物質及び混合物の再分類	157
2.8.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類	157
2.8.6.2.	輸送分類との関係	157
2.8.7.	自己反応性に関する分類の例	158
2.8.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	158
2.9.	自然発火性液体 (Pyrophoric Liquids)	161
2.9.1.	序	161
2.9.2.	自然発火性液体の分類のための定義及び一般的考慮事項	161
2.9.3.	その他の物理的ハザードとの関連	161
2.9.4.	自然発火性液体としての物質及び混合物の分類	162
2.9.4.1.	ハザード情報の特定	162
2.9.4.2.	スクリーニング手順と試験の回避	162
2.9.4.3.	分類のクライテリア	162
2.9.4.4.	試験及びハザード情報の評価	162
2.9.4.5.	決定ロジック	163
2.9.4.5.1.	自然発火性液体の決定ロジック	163
2.9.5.	自然発火性液体のハザード周知	164
2.9.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	164
2.9.6.	DSD 及び DPD に従って自然発火性液体として分類された、 又は既に輸送のために分類された物質及び混合物の再分類	165
2.9.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類	165
2.9.6.2.	輸送分類との関連	165
2.9.7.	自然発火性液体の分類例	166
2.9.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	166
2.9.7.1.1.	例 1	166
2.9.7.1.2.	例 2	166
2.9.7.2.	分類クライテリアを満たしていない物質及び混合物の例	166
2.9.7.2.1.	例 3	166
2.9.8.	参考文献	166
2.10.	自然発火性固体 (Pyrophoric Solids)	167
2.10.1.	序	167

2.10.2.	自然発火性液体及び固体の分類のための定義及び一般的考慮事項	167
2.10.3.	その他の物理的ハザードとの関連	168
2.10.4.	自然発火性固体としての物質及び混合物の分類	168
2.10.4.1.	ハザード情報の特定	168
2.10.4.2.	スクリーニング手順と試験の回避	168
2.10.4.3.	分類のクライテリア	169
2.10.4.4.	試験及びハザード情報の評価	169
2.10.4.5.	決定ロジック	169
2.10.4.5.1.	自然発火性固体の決定ロジック	170
2.10.5.	自然発火性固体のハザード周知	170
2.10.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	170
2.10.6.	DSD 及び DPD に従って自然発火性固体として分類された、 又は既に輸送のために分類された物質及び混合物の再分類	170
2.10.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類	170
2.10.6.2.	輸送分類との関連	171
2.10.7.	自然発火性固体の分類例	171
2.10.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	171
2.10.7.1.1.	例 1	172
2.10.7.1.2.	例 2	172
2.10.7.2.	分類クライテリアを満たしていない物質及び混合物の例	172
2.10.7.2.1.	例 3	172
2.10.7.2.2.	例 4	172
2.10.8.	参考文献	172
2.11.	自己発熱性物質及び混合物 (Self-heating substances and mixtures)	173
2.11.1.	序	173
2.11.2.	自己発熱性物質及び混合物の分類についての定義並びに一般的考慮事項	173
2.11.3.	他の物理的ハザードとの関係	173
2.11.4.	自己発熱性物質及び混合物としての分類	173
2.11.4.1.	ハザード情報の特定	173
2.11.4.2.	スクリーニング手順及び試験の免除	174
2.11.4.3.	分類クライテリア	174
2.11.4.4.	試験及びハザード情報の評価	175
2.11.4.4.1.	概論	175
2.11.4.4.2.	試料の準備	175
2.11.4.4.3.	クライテリア及び評価	176
2.11.4.5.	決定ロジック	176
2.11.5.	自己発熱性物質及び混合物のハザード周知	179
2.11.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	179
2.11.6.	DSD 及び DPD に従って分類された、又は輸送のために既に分類された物質及び	

混合物の再分類.....	179
2.11.6.1. DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類.....	179
2.11.6.2. 輸送分類との関係	180
2.11.7. 自己発熱性物質及び混合物の分類例.....	180
2.11.7.1. 分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	180
2.11.7.2. 分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例.....	180
2.11.8. 参考文献	181
2.12. 水と接触して可燃性ガスを排出する物質及び混合物 (Substances and mixtures which in contact with water emit flammable gases)	181
2.12.1. 序	181
2.12.2. 水と接触して可燃性ガスを排出する物質及び混合物の分類についての 定義及び一般的考慮事項	182
2.12.3. 他の物理的ハザードとの関係.....	182
2.12.4. 水と接触して可燃性ガスを排出する物質及び混合物としての分類.....	182
2.12.4.1. ハザード情報の特定.....	182
2.12.4.2. スクリーニング手順及び試験の回避	183
2.12.4.3. 分類クライテリア	184
2.12.4.4. 試験及びハザード情報の評価	184
2.12.4.4.1. 試験手順.....	184
2.12.4.4.2. ハザード情報の評価.....	185
2.12.4.5. 決定ロジック	186
2.12.5. 水と接触して可燃性ガスを排出する物質及び混合物のハザード周知	179
2.12.5.1. 絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	188
2.12.5.2. 追加の表示規定.....	188
2.12.6. DSD 及び DPD に従って水と接触して可燃性ガスを排出する物質又は混合物、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類	188
2.12.6.1. DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類.....	188
2.12.6.1.1. 分類及び表示の違い	189
2.12.6.1.2. 試験手順の違い	189
2.12.6.2. 輸送分類との関係	190
2.12.7. 水と接触して可燃性ガスを排出する物質又は混合物の分類例	190
2.12.7.1. 分類クライテリアを満たす物質の例	190
2.12.7.1.1. 例 1.....	190
2.12.7.2. 分類クライテリアを満たさない物質の例	191
2.12.7.2.1. 例 2.....	191
2.12.8. 参考文献	191
2.13. 酸化性液体 (Oxidising Liquids)	192
2.13.1. 序	192
2.13.2. 酸化性液体の分類についての定義及び一般的考慮事項	192

2.13.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	193
2.13.4.	酸化性液体としての物質及び混合物の分類.....	193
2.13.4.1.	ハザード情報の特定.....	193
2.13.4.1.1.	非試験データ及び試験の回避.....	193
2.13.4.2.	分類クライテリア.....	194
2.13.4.3.	試験及びハザード情報の評価.....	195
2.13.4.4.	決定ロジック.....	195
2.13.4.5.	酸化性液体のハザード周知.....	196
2.13.4.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	197
2.13.5.	DSD 及び DPD に従って酸化性液体として分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類.....	197
2.13.5.1.	DSD 及び OPD に従って分類された物質及び混合物の再分類.....	197
2.13.5.2.	輸送分類との関係.....	198
2.13.6.	酸化性液体の分類例.....	198
2.13.6.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	198
2.13.6.2.	分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例.....	198
2.13.7.	参考文献.....	198
2.14.	酸化性固体 (Oxidising Solids).....	199
2.14.1.	序.....	199
2.14.2.	酸化性固体の分類についての定義及び一般的考慮事項.....	199
2.14.3.	他の物理的ハザードとの関係.....	200
2.14.4.	酸化性固体としての物質及び混合物の分類.....	200
2.14.4.1.	ハザード情報の特定.....	200
2.14.4.1.1.	非試験データ及び試験の回避.....	201
2.14.4.2.	分類クライテリア.....	202
2.14.4.3.	試験及びハザード情報の評価.....	203
2.14.4.4.	決定ロジック.....	203
2.14.4.5.	酸化性固体のハザード周知.....	205
2.14.4.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント.....	205
2.14.5.	DSD 及び DPD に従って酸化性固体として分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類.....	205
2.14.5.1.	DSD 及び OPD に従って分類された物質及び混合物の再分類.....	205
2.14.5.2.	輸送分類との関係.....	206
2.14.6.	酸化性固体の分類例.....	206
2.14.6.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例.....	206
2.14.6.2.	分類クライテリアを満たさない物質及び混合物の例.....	206
2.14.7.	参考文献.....	206
2.15.	有機過酸化物 (Organic Peroxides).....	207
2.15.1.	序.....	207

2.15.2.	有機過酸化物の分類についての定義及び一般的考慮事項	207
2.15.3.	他の物理的ハザードとの関係	207
2.15.4.	有機過酸化物としての物質及び混合物の分類	208
2.15.4.1.	ハザード情報の特定	208
2.15.4.2.	分類クライテリア	208
2.15.4.3.	試験及びハザード情報の評価	210
2.15.4.3.1.	熱安定性と温度管理	210
2.15.4.3.2.	追加の考慮事項及び試験	211
2.15.4.3.3.	追加の分類考慮事項	212
2.15.4.4.	決定ロジック	212
2.15.5.	有機過酸化物のハザード周知	214
2.15.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	214
2.15.5.2.	有機過酸化物の追加の表示規定	214
2.15.6.	DSD 及び DPD に従って有機過酸化物に分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類	215
2.15.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類	215
2.15.6.2.	輸送分類との関係	215
2.15.7.	有機過酸化物の分類例	215
2.15.7.1.	分類クライテリアを満たす物質及び混合物の例	215
2.15.8.	付言	217
2.16.	金属腐食性 (Corrosive to Metals)	218
2.16.1.	序	218
2.16.2.	金属腐食性物質の分類についての定義及び一般的考慮事項	219
2.16.3.	他の物理的ハザードとの関係	219
2.16.4.	金属腐食性物質としての物質及び混合物の分類	219
2.16.4.1.	ハザード情報の特定	219
2.16.4.2.	スクリーニング手順及び試験の回避	221
2.16.4.3.	分類クライテリア	221
2.16.4.4.	試験及びハザード情報の評価	221
2.16.4.4.1.	一般的考慮事項	221
2.16.4.4.2.	試験の最良規範に関する補注	222
2.16.4.5.	決定ロジック	224
2.16.5.	金属腐食性物質及び混合物のハザード周知	225
2.16.5.1.	絵表示、注意喚起語、ハザードステートメント及び予防ステートメント	225
2.16.6.	DSD 及び DPD に従って金属腐食性物質として分類された、 又は輸送のために既に分類された物質及び混合物の再分類	226
2.16.6.1.	DSD 及び DPD に従って分類された物質及び混合物の再分類	226
2.16.6.2.	輸送分類との関係	226
2.16.7.	金属腐食性物質及び混合物の分類例	227

2.16.7.1. 腐食性のある混合物にばく露された後の金属試料板の例.....	227
2.16.8. 参考文献	228
3. パート 3 : 健康ハザード (省略)	
(特別資料 No.371「CLP クライテリアの適用に関する手引 (パート 3) (第 4 版)」を参照)	
4. パート 4 : 環境ハザード (省略)	
(特別資料 No.372「CLP クライテリアの適用に関する手引 (パート 4・パート 5・付属書	
(第 4 版)」を参照)	
5. パート 5 : 追加ハザード (省略)	
(特別資料 No.372「CLP クライテリアの適用に関する手引 (パート 4・パート 5・付属書	
(第 4 版)」を参照)	
付属書 (省略)	
付属書 I : 水生毒性 (省略)	
付属書 II : 急速分解 (省略)	
付属書 III : 生物蓄積 (省略)	
付属書 IV : 金属及び無機金属化合物 (省略)	
付属書 V : この手引の使用者のためのインターネットリンクの収集 (省略)	
付属書 VI : 規則(EC) No 1272/2008 に従って生殖毒性に分類される物質についての特定の	
濃度限界値を定めるための手引きの参考文書 (省略)	
(特別資料 No.372「CLP クライテリアの適用に関する手引 (パート 4・パート 5・付属書	
(第 4 版)」を参照)	
原文	231